

# 地域創造 インスティテュート

## 修士課程

### 1. 履修上の注意

#### (1) 修了所要単位について

創造群 / 科目群	基本科目		創造群科目	演習科目	関連科目	修了所要単位合計※1
	インスティテュート共通科目	リサーチ・フィールドワーク系科目				
都市・文化・観光	2 単位 (必修)	4 単位 以上	所属する 創造群から 6 単位以上	8 単位	10 単位 以上	30 単位 以上 (32 単位 以上※2)
産業・企業・イノベーション						
人材育成・生活・ ウェルビーイング						

※1 修士課程の修了には、上記の単位修得に加え、「修士学位授与基準」に従い、「修士課程中間発表会」への参加（修了までに2回以上参加）、及び修士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

※2 「修士論文」に代えて「地域研究論文」を提出する学生は、合計で32単位以上の修得が修了要件となります。

#### (2) 科目履修上の注意点

##### ①基本科目について

基本科目は、地域創造インスティテュート修士課程における学びの基本となる科目群です。

基本科目は「インスティテュート共通科目」「リサーチ・フィールドワーク系科目」に分かれています。

##### a インスティテュート共通科目

本インスティテュート唯一の必修科目「地域創造ワークショップ」を配置しています。

この科目は、原則として1年次に履修のうえ、2単位を修得してください。

##### b リサーチ・フィールドワーク系科目

フィールドワークに関連した、本インスティテュートの特徴的な科目群です。

この科目は、なるべく1年次に履修のうえ、修了までに4単位以上を修得してください。

なお、基本科目のうち、6単位を超えて修得した単位は、関連科目の単位とすることができます。

##### ②創造群科目について

本インスティテュートの修士課程では、在学生全員がいずれかの創造群に所属します。

「都市・文化・観光創造群」「産業・企業・イノベーション創造群」「人材育成・生活・ウェルビーイング創造群」のうち、入学時に決定した所属の創造群より、修了までに6単位以上を修得してください。

なお、創造群科目で修得した単位のうち以下については、関連科目の単位とすることができます。

- 創造群科目のうち、所属する創造群から6単位を超えて修得した単位
- 創造群科目のうち、所属する創造群以外の創造群から修得した単位

##### ③演習科目について

本インスティテュート修士課程の論文指導科目として「地域創造演習A」「地域創造演習B」を開講します。

必ず、指導教員が担当する「地域創造演習A」（春学期）または「地域創造演習B」（秋学期）を履修のうえ、修了までに8単位を修得してください。なお、演習科目の修得単位数の上限は8単位となります。

#### ④関連科目について

関連科目を、修了までに10単位以上修得してください。

関連科目に配当されている科目の単位以外にも、以下の修得単位を関連科目の単位とすることができます。

- 基本科目のうち、6単位を超えて修得した単位（上記①参照）
- 創造群科目のうち、所属する創造群から6単位を超えて修得した単位（上記②参照）
- 創造群科目のうち、所属する創造群「以外」で修得した単位（上記②参照）
- 他専攻科目の修得単位（以下⑤参照）

#### ⑤他専攻科目について

他の研究科・専攻が設置する修士課程の授業科目について、10単位を上限として履修が可能です。

修得した単位は、関連科目の単位として認定されます。

#### ⑥その他の注意事項

他専攻科目を履修する場合、指導教員と他専攻の授業を担当する教員の両方の承認を得ることが必要となります。

#### ⑦大学院研究科共通科目「日本語論文作成A」「日本語論文作成B」の履修について

春学期中に、どの研究科の留学生でも履修できる日本語科目「日本語論文作成A」「日本語論文作成B」を開講しています。詳細は、P.199をご参照ください。ただし、この科目の単位を修得しても修了所要単位に含めることができませんのでご注意ください。

#### ⑧日本語教育センター設置科目について

主に学部所属の交換留学生等を対象とした設置科目ですが、学則上、大学院に所属する留学生においても履修することができます。ただし、大学院生については修了所要単位に含めることができません。また、履修を希望する科目の定員に余裕がない場合、学部生の履修を優先します。

履修希望者は、プレイスメントテストの受講や事前の手続きが必要です。2026年3月23日までに大学院課窓口へ受講希望の旨をお申し出ください。レベルチェック等スケジュールの都合上、期日までに申し出がない場合、履修できません。

### (3) 修士課程中間発表会

修士1年次は12月、修士2年次は7月に開催します。

## 2. 授業科目担当者一覧

【連続】：前年度までに単位を修得した後も続けて履修できる科目

【重複】：同じ年度に同じ名称の科目を複数履修できる科目

【他専攻】：他専攻の学生が履修できる科目

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
<基本科目>						
【インスティテュート共通科目】						
地域創造ワークショップ	インスティテュート教員	2				オムニバス、1年次に履修すること
【リサーチ・フィールドワーク系科目】						
地域分析の基礎	インスティテュート教員	2				オムニバス
地域共生社会特論	人間社会研究科教員	2				オムニバス、人間社会研究科主催 ※授業は多摩学年暦に従い実施
研究法	上山 肇	2				
調査法	高尾 真紀子	2				
質的研究法	齊藤 弘通	2				
フィールドワーク演習(1単位)	近藤 章夫	1	○	○		

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
フィールドワーク演習(1単位)	佐々木 梨華	1	○	○		
フィールドワーク演習(2単位)	休講	2				
特別講義(希望学概論)	玄田 有史	2			○	客員教授による特別講義
<b>&lt;創造群科目&gt;</b>						
<b>【都市・文化・観光創造群】</b>						
地域社会論	上山 肇	2			○	隔年開講
まちづくり事例研究	上山 肇	2			○	
比較都市事例研究	伴 宣久	2			○	
都市空間論	休講	2			○	隔年開講
文化基盤形成論	増淵 敏之	2			○	隔年開講
文化地理学	休講	2			○	隔年開講
コンテンツツーリズム論	増淵 敏之	2			○	隔年開講
都市文化論	休講	2			○	隔年開講
住宅政策特論	水野 雅男	2			○	人間社会研究科と合同
内発的農村発展特論	関司 直也	2			○	人間社会研究科と合同
環境社会学特論	野田 岳仁	2			○	人間社会研究科と合同
コミュニティーメディア論	北郷 裕美	2			○	
ニューツーリズム論	北郷 裕美	2			○	
観光開発論	北郷 裕美	2			○	
フィールドワーク論	北郷 裕美	2			○	
観光社会学	高岡 文章	2			○	
文化社会学	宮入 恭平	2			○	
地域コミュニティ論	中島 由紀	2			○	人材育成・生活・ウェルビーイング創造群と合同
観光マーケティング論	青木 洋高	2			○	
<b>【産業・企業・イノベーション創造群】</b>						
経済地理学(経済地理学A)	休講	2			○	経済学研究科と合同 隔年開講
経済地理学(経済地理学B)	近藤 章夫	2			○	経済学研究科と合同 隔年開講
ソーシャル・イノベーション特論	土肥 将敦	2			○	人間社会研究科と合同
地域マネジメント	松本 敦則	2			○	イノベーション・マネジメント研究科と合同
地域産業論	休講	2			○	
地域経営戦略論	渡邊 政嘉	2			○	
地域イノベーション論	橋本 正洋	2			○	
地域活性特論	休講	2			○	人材育成・生活・ウェルビーイング創造群と合同
生活政策論	休講	2			○	人材育成・生活・ウェルビーイング創造群と合同
消費者政策論	柿野 成美	2			○	人材育成・生活・ウェルビーイング創造群と合同
ESG投資と企業経営	休講	2			○	経済学研究科と合同 隔年開講
SDGsと企業経営	田中 優希	2			○	経済学研究科と合同 隔年開講
CSR論	佐々木 恭子	2			○	
中小企業論	休講	2			○	
新産業創出論	休講	2			○	隔年開講
事業承継論	休講	2			○	

授業科目		単位	連続	重複	他専攻	備考
非営利組織特論	今瀬 政司	2			○	隔年開講
ダイバーシティ経営	福田 智美	2			○	
コーポレートガバナンス	林 順一	2			○	
<b>【人材育成・生活・ウェルビーイング創造群】</b>						
少子高齢化と社会保障	高尾 真紀子	2			○	隔年開講
ウェルビーイング論	高尾 真紀子	2			○	
地域活性化システム論	休講	2			○	隔年開講
雇用政策研究（マクロ）	石山 恒貴	2			○	
地域雇用政策事例研究	石山 恒貴	2			○	
人材育成論	石山 恒貴	2			○	
人的資源管理論	石山 恒貴	2			○	
障害と開発特論	佐野 竜平	2			○	人間社会研究科と合同
地域文化と教育特論	杉浦 ちなみ	2			○	人間社会研究科と合同
キャリアと雇用の経済学1	梅崎 修	2			○	キャリアデザイン学研究科と合同
キャリアと雇用の経済学2	梅崎 修	2			○	キャリアデザイン学研究科と合同
地域活性特論	休講	2			○	産業・企業・イノベーション創造群と合同
実証分析入門	梅溪 健児	2			○	
生活政策論	休講	2			○	産業・企業・イノベーション創造群と合同
消費者政策論	柿野 成美	2			○	産業・企業・イノベーション創造群と合同
キャリア理論と統計分析	佐藤 雄一郎	2			○	
キャリア政策研究	岸田 泰則	2			○	
地域コミュニティ論	中島 由紀	2			○	都市・文化・観光創造群と合同
男女共同参画政策論	池永 肇恵	2			○	隔年開講
実践地方行政論	休講	2			○	隔年開講
<b>&lt;関連科目&gt;</b>						
経済学	休講	2				
社会学	休講	2				
レポートライティング	佐藤 雄一郎	2				
英語論文文献講読	休講	2				
特別講義（九州地域創生論）	岡野 秀之	2			○	客員教授による特別講義
特別講義（統計学入門）	後藤 嘉孝	2			○	
<b>&lt;演習科目&gt;</b>						
地域創造演習 A	インスティテュート教員	2	○			修士課程論文指導教員が担当
地域創造演習 B	インスティテュート教員	2	○			修士課程論文指導教員が担当

### 3. 講義概要（シラバス）

授業科目の講義概要（時間割）および教員の主要研究業績等については、Web シラバスを参照してください。  
Web シラバス URL： <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

## 博士後期課程

### 1. 履修上の注意

#### (1) 修了所要単位について

科目群	研究指導科目	関連科目	修了所要単位 合計
(創造群の選択はありません)	12 単位 (選択必修)	6 単位以上 修士課程開講科目 (創造群科目)	18 単位以上

※博士後期課程の修了には、上記の単位修得に加え、「博士学位授与基準」に従い、「博士後期課程中間発表会」への参加（修了までに3回以上参加）並びにその他の要件を充足のうえ、博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

#### (2) 科目履修上の注意点

##### ①研究指導科目について

本インスティテュート博士後期課程の論文指導科目として「研究論文指導 A」「研究論文指導 B」を開講します。

必ず、指導教員が担当する「研究論文指導 A」（春学期）または「研究論文指導 B」（秋学期）を履修のうえ、修了までに12単位を修得してください。なお、研究指導科目の修得単位数の上限は12単位となります。

##### ②関連科目（修士課程開講科目：創造群科目）について

修士課程開講科目のうちの「創造群科目」を、修了までに6単位以上修得してください。

なお、博士後期課程の学生は、3つの創造群のいずれにも所属しないため、どの創造群の科目でもカウントされます。

修士課程開講科目のうち、「フィールドワーク演習」および「特別講義」は、指導教員の指導により履修が可能となりますが、博士後期課程のカリキュラム上における「関連科目」の修得単位とはなりません。必ず「創造群科目」を履修してください。

##### ③大学院研究科共通科目「研究者のための教授法演習」の履修について

博士後期課程の在学学生を主な対象として、プレFD科目「研究者のための教授法演習」を開講します。

本科目は、博士在学中から体系的に教育スキルを身につけ、研究力に加えて「教育力」も備えた若手研究者の育成を目的としています。受講希望者は「大学院研究科共通 プレFD科目」の項を参照してください（200ページ）。

研究科共通科目「研究者のための教授法演習」の単位は、修了要件に含まれません。

#### (3) 博士後期課程中間発表会

博士1年次および2年次は12月に開催する。博士3年次は博士学位論文申請日の6か月前までに、中間発表会への参加を申請する。

### 2. 授業科目担当者一覧

【連続】：前年度までに単位を修得した後も続けて履修できる科目

【重複】：同じ年度に同じ名称の科目を複数履修できる科目

【他専攻】：他専攻の学生が履修できる科目

授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
<研究指導科目>						
研究論文指導 A	インスティテュート教員	2	○			博士後期課程論文指導教員が担当
研究論文指導 B	インスティテュート教員	2	○			博士後期課程論文指導教員が担当
<関連科目>						
修士課程開講科目（創造群科目）	修士課程 創造群科目欄を参照のこと					

## 修士課程・博士後期課程 共通

### 1. 論文指導教員について

#### (1) インスティテュート教員の所属研究科名について

指導教員名	所属研究科（修士課程）	所属研究科（博士後期課程）
石山 恒貴	経済学研究科経済学専攻	経済学研究科経済学専攻
梅崎 修	キャリアデザイン学研究科 キャリアデザイン学専攻	経済学研究科経済学専攻
上山 肇	経済学研究科経済学専攻	経済学研究科経済学専攻
北郷 裕美	経済学研究科経済学専攻	※博士後期課程の論文指導は担当しません
近藤 章夫	経済学研究科経済学専攻	経済学研究科経済学専攻
佐野 竜平	人間社会研究科福祉社会専攻	※博士後期課程の論文指導は担当しません
関司 直也	人間社会研究科福祉社会専攻	※博士後期課程の論文指導は担当しません
高尾 真紀子	経済学研究科経済学専攻	経済学研究科経済学専攻
田中 優希	経済学研究科経済学専攻	経済学研究科経済学専攻
土肥 将敦	人間社会研究科福祉社会専攻	※博士後期課程の論文指導は担当しません
野田 岳仁	人間社会研究科福祉社会専攻	※博士後期課程の論文指導は担当しません
増淵 敏之	経済学研究科経済学専攻	※博士後期課程の論文指導は担当しません
水野 雅男	人間社会研究科福祉社会専攻	※博士後期課程の論文指導は担当しません

#### (2) インスティテュート在学生の所属研究科について

地域創造インスティテュート在学生の所属研究科は、入学時に決定した指導教員の所属研究科（上表の通り）となります。なお、在学中に指導教員が変更となった場合にも、入学時に決定した所属研究科は変更となりません（ただし、地域創造インスティテュート以外の研究科・専攻に転研究科する場合は除きます）。

### 2. IV期制・セメスター制・授業スケジュール（時間割）について

授業科目は主に、IV期制（I期・II期・III期・IV期）で開講されますが、科目により、セメスター制（春学期・秋学期）、で開講される場合があります。また、他研究科が主催する合同科目の場合、該当研究科の所属するキャンパスの授業スケジュール（時間割）により開講されますので、ご注意ください。（例：人間社会研究科主催科目「地域共生社会特論」は多摩キャンパスの授業スケジュールにより開講）

法政大学 時間割 URL <https://www.hosei.ac.jp/campuslife/guide/gakuji/jikanwari/>

### 3. 早期修了の申請について

本学大学院に1年以上在学し、以下の条件を満たせる方が、早期修了を希望して指導教員から認められた場合、早期修了を申請することができます。3月修了を希望する場合は当該年度の6月末日までに、9月修了を希望する場合は前年度12月末日までに、所属研究科長宛の申請書類を提出してください。詳細は、大学院課へお問い合わせください。

- 早期修了の希望時期までに各専攻が定める修了要件を満たせること（学位論文を含む）。
- 大学院入学から早期修了申請時までに、学術誌への論文投稿及び学会発表を行っていること。

あわせて、大学院ホームページに掲載している以下の規則をご確認ください。

「法政大学大学院早期修了に関する規則」

「法政大学大学院学則（第22条および第26条）」